

食 材 百 科

柿

柿は8世紀に編纂された「古事記」、「日本書紀」にも記述がみられるなど、古くから日本人に親しまれた果物のひとつです。鮮やかに色づいた柿が実っている風景は、秋の深まりを感じさせてくれます。

○ 柿について

柿の原産地は中国ともいわれていますが、諸説あるようです。

カキノキ科カキノキ属の一種で、学名を「*Diospyros kaki* (ディオスピロス・カキ)」といい、日本語がそのまま学名に含まれています。

柿の実には、ビタミンC、β-カロテン、タンニン、食物繊維など、多くの栄養素が含まれていることから、「柿が赤くなると医者が青くなる」ということわざもあります。

○ 柿の品種

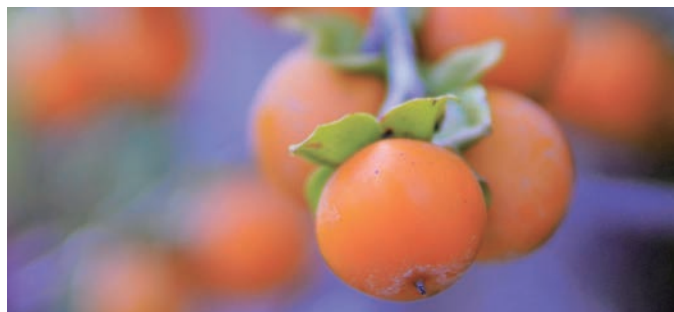
柿には甘柿と渋柿があり、甘柿では「富有」^{ふゆう}、「次郎」、^{にしむらわせ}「西村早生」が、渋柿では「平核無」^{ひらたねなし}、「刀根早生」^{とねわせ}が多く栽培されています。

また、ちょっと変わった品種に「突核無」^{とつたねなし}があります。これは「平核無」^{ひらたねなし}の枝変わり(突然変異)とされ、果実の大きさが長径2 cm~4 cm程度、果重は30 g~50 g位の小さな柿で、種もないため、ひとくちで食べられるのが特徴です。

岐阜県と新潟県で、「ベビーパーシモン」の名称で出荷されています。



富有柿



ベビーパーシモン

○ 柿の日

10月26日は「柿の日」です。俳人、正岡子規が、明治28年10月26日に始まる奈良旅行で、有名な「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺」の句を詠んだとされています。このことにちなみ、全国果樹研究連合会によって2005(平成17)年に制定されました。